



## 設置

---

この章では次の内容について説明します。

- [安全上の注意事項](#)
- [欧州連合諸国で使用する場合](#)
- [静電破壊の防止](#)
- [ルータの損傷を防ぐために](#)
- [ルータの開梱](#)
- [設置の準備](#)
- [ルータの設置](#)
- [ルータの設置](#)
- [設置の確認](#)
- [次の作業](#)

## 安全上の注意事項

ルータの設置を始める前に、次の警告をお読みください。



この装置の設置または交換は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



インストレーション手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



スタンバイ/オフスイッチのあるシステムを取り扱う場合は、事前にスイッチをスタンバイ状態にして、電源コードを取り外してください。



電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。



ISDN の接続部は、ユーザが触れると危険な電圧源です。PTO（通信事業者）から提供された装置や接続用のハードウェアをむやみに触ったり開けたりしないでください。（取り外しのできない使い捨てプラグ以外の）配線接続はすべて、通信事業のスタッフまたは相応に訓練を受けた技術者が行う必要があります。




感電事故を防ぐため、SELV（Safety Extra-Low Voltage）回路を TNV（電話網電圧）回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路、WAN ポートには TNV 回路が使用されています。LAN ポートおよび WAN ポートには、どちらも RJ-45 コネクタが使用されている場合があります。ケーブル接続には注意してください。



この製品を廃棄処分する際には、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。



準拠マーク（）にバツ印が付いている場合は、そのポートを欧州連合格格に準拠する公衆網に接続することはできません。このタイプの公衆網に接続すると、ご使用のルータに重大な損傷が発生する可能性があります。

## 欧州連合諸国で使用する場合

以下の説明は、EU（欧州連合）諸国で販売された Cisco 801 ルータおよび Cisco 803 ルータに対するものです。

### Network Termination Point について

この製品には、ETSI 300 386-2 に規定されている「NTP (Network Termination Point)」は含まれていません。この製品の製造業者による分類では、この製品は「端末装置」として取り扱われています。ご不明の点は、ご使用の地域の通信事業者にお問い合わせください。

### ISDN S/T ポートについて

この製品の製造業者による分類では、これらのポートは、CISPR 24, 1997 に規定されている外部ケーブルへの「直接接続ポート」として取り扱われてはいません。ご不明の点は、ご使用の地域の通信事業者にお問い合わせください。

## 静電破壊の防止

人と電気装置のように異なる静電位を持つものの中で静電荷が移動することを静電気放電（ESD）といいます。ESD は電子コンポーネントの取り扱いが不適切な場合に生じ、装置や電気回路を損傷することがあります。合成繊維と乾燥した空気が組み合わさると、ESD が発生しやすくなります。

コンポーネントの取り外し / 取り付け時には、次に示す ESD 防止手順に必ず従ってください。

1. 適切なワイヤを用意し、シャーシをアースに接続します。
2. 静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用します。

ストラップのクリップをシャーシの塗装されていない表面に取り付け、不要な ESD 電圧を安全にアースします。ESD による機器の損傷や感電事故を防ぐには、リストストラップやコードが効果的に機能しなければなりません。リストストラップを利用できない場合は、シャーシの金属部分に触れて、体の静電気をアースしてください。必ず、前述の「[安全上の注意事項](#)」に記載されている注意事項に従ってください。

3. ケーブルが接続されていないインターフェイス ポートの露出したコンタクト ピンやコネクタシェルには絶対に触れないでください。

ケーブルの一端しか接続されていない場合は、未接続のケーブル端の露出ピンに触れないように注意してください。



(注)

この装置は、住宅地や商業環境のみでの使用を想定して設計されています。



注意

静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 MΩ でなければなりません。

## ルータの損傷を防ぐために

ルータに装置を接続する際には、次の注意事項に従ってください。

- シスコ社提供の色別コードを背面パネル上の同じ色のポートに接続します。
- ユーザ側でケーブルを用意しなければならない場合は、付録 B「仕様およびケーブル」の「ケーブル仕様」を参照してください。この付録に目的のケーブルの仕様が記載されていない場合は、シスコ社製ケーブルを注文することを推奨します。
- ポートの上に準拠マーク (☒) が付いている場合は、そのポートを欧州連合格格に準拠する公衆網に直接接続することができます。



### 警告

準拠マーク (☒) にバツ印が付いている場合は、そのポートを欧州連合格格に準拠する公衆網に接続することはできません。このタイプの公衆網に接続すると、ご使用のルータに重大な損傷が発生する可能性があります。

## ルータの開梱

表 2-1 に、ルータと同梱されているものを示します。アクセサリ キットに含まれるものはすべて、ルータの箱に入れられています。不足または破損しているものがあつた場合は、代理店にお問い合わせください。

表 2-1 ルータの同梱物

• 電源コード (黒)
• デスクトップ電源
• コンソール ケーブル (ライトブルー)
• DB-9/RJ-45 アダプタ (ライトブルーのコンソール ケーブルと併せて使用)
• ISDN ST ケーブル (オレンジ) (Cisco 801 および Cisco 803 ルータ)
• イーサネット ケーブル (黄色)
• ISDN U ケーブルまたは IDSL ケーブル (赤) (Cisco 802、Cisco 802 IDSL、Cisco 804、および Cisco 804 IDSL ルータ)
• RJ-45/RJ-11 アダプタ ケーブル (赤い ISDN U ケーブルと併せて使用)
• 製品マニュアル

## 設置の準備

Cisco 800 シリーズ ルータの設置を始める前に、次の手順を完了してください。

- 
- ステップ 1** 電話サービス プロバイダーに ISDN BRI 回線の契約を申し込みます。詳細は、『Cisco 800 Series Routers Software Configuration Guide』を参照してください。
- ステップ 2** Cisco 801 または Cisco 803 のルータを使用する場合は、次のようにします。
- 北米以外で使用する場合は、外付けの NT1 (Network Termination 1)、および NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブルを用意する必要があるかどうかを電話サービス プロバイダーに問い合わせてください。これらが必要な場合は、NT1 のベンダーについて問い合わせてください。
  - 北米で使用する場合は、電話サービス プロバイダーに外付け NT1 のベンダーについて問い合わせてください。NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブルは、ユーザ側で用意してください。
- ステップ 3** イーサネット、ISDN、および IDSL のケーブル距離制限に注意してください。詳細は、[付録 B 「仕様およびケーブル」](#) の「[最大ケーブル長](#)」を参照してください。
- ステップ 4** ルータに接続するイーサネット装置を確認します。接続できるのは、10 または 10/100 Mbps の NIC (ネットワーク インターフェイス カード) を装備したハブ、サーバ、ワークステーション、または PC です。
- ステップ 5** Cisco 801 または Cisco 803 ルータにデジタル電話機を接続する場合は、S/T インターフェイス 2 つと U インターフェイス 1 つを備えた NT1、電話機接続用の電話ケーブル (通常このケーブルは装置に付属しています)、NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブルを用意する必要があります。
- ステップ 6** Cisco 803 または Cisco 804 のルータを使用する場合は、ルータに接続する装置 (アナログ電話機、FAX、またはモデム) を用意します。各装置を接続する電話ケーブルも必要です (通常、このケーブルは装置に付属しています)。
- ステップ 7** ルータに接続した端末または PC を使用してソフトウェアの設定を行う場合は、端末または PC を用意します。



### 注意

ルータを設置する壁面が乾式壁の場合は、ネジ (1/8 インチまたは M3) を固定する中空壁アンカを 3 つ使用します。ネジがしっかり固定されていないと、ネットワーク ケーブルの接続によって力がかかり、ルータが壁から外れることがあります。ドリル ビットは、中空壁アンカのメーカーが指定するサイズを使用します。

- 
- ステップ 8** ケーブルロック機能を使用する場合は、Kensington または同等のロックング ケーブルが必要です。
-

## ルータの設置

Cisco 800 シリーズ ルータを設置するには、次の作業を順番どおりに実行する必要があります。

1. ルータにイーサネット装置を接続します。
2. ルータに ISDN 回線または IDSL 回線を接続します。
3. Cisco 801 または Cisco 803 のルータを使用する場合は、デジタル電話機を接続します (オプション)。
4. Cisco 803 または Cisco 804 のルータを使用する場合は、アナログ電話機、FAX、またはモデムを接続します (オプション)。
5. 端末または PC をルータに接続します (CLI [ コマンドライン インターフェイス ] を使用したソフトウェアの設定またはトラブルシューティングに使用します)。
6. ルータを電源に接続します。
7. ルータを設置場所に取り付けます。
8. ルータの設置を確認します。

## イーサネット装置の接続

ルータに接続できるイーサネット装置、各装置への接続、ルータの HUB/NO HUB または TO HUB/TO PC ボタンの設定 (IN がデフォルトの設定) を表 2-2 に示します。

表 2-2 イーサネット装置の接続

ルータに接続するネットワーク装置	ルータのポート	イーサネットケーブルのタイプ <sup>1</sup>	ルータの HUB/NO HUB または TO HUB/TO PC ボタンの設定	ネットワーク装置ボタンの設定 <sup>2</sup>
ルータの HUB/NO HUB ボタンに相当するボタンが付いているハブ	Cisco 801 および 802 ルータ : イーサネット ポート Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 0	ストレート	IN	MDI (IN)
ルータの HUB/NO HUB ボタンに相当するボタンが付いているハブ	Cisco 801 および 802 ルータ : イーサネット ポート Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 0	ストレート	OUT	MDI-X (OUT)
ルータの TO HUB/TO PC ボタンに相当するボタンが付いているハブ	Cisco 802 IDSL ルータ : イーサネット ポート Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 1	ストレート	IN	MDI (IN)
ルータの TO HUB/TO PC と同等のボタンが付いているハブ	Cisco 802 IDSL ルータ : イーサネット ポート Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 1	ストレート	OUT	MDI (OUT)
ルータの HUB/NO HUB ボタンに相当するボタンが付いているハブ	Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 1、2、3	ストレート	該当なし <sup>3</sup>	MDI (IN)

表 2-2 イーサネット装置の接続 (続き)

ルータに接続するネットワーク装置	ルータのポート	イーサネットケーブルのタイプ <sup>1</sup>	ルータの HUB/NO HUB または TO HUB/TO PC ボタンの設定	ネットワーク装置ボタンの設定 <sup>2</sup>
ルータの TO HUB/TO PC ボタンに相当するボタンが付いているハブ	Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 2、3、4	ストレート	該当なし <sup>4</sup>	MDI (IN)
ルータの HUB/NO HUB ボタンに相当するボタンが付いていないハブ	Cisco 801 および 802 ルータ : イーサネット ポート Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 0	ストレート	OUT	MDI-X (OUT)
ルータの TO HUB/TO PC ボタンに相当するボタンが付いていないハブ	Cisco 802 IDSL ルータ : イーサネット ポート Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 1	ストレート	OUT	MDI-X (OUT)
ルータの HUB/NO HUB ボタンに相当するボタンが付いていないハブ	Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 1、2、3	クロス	該当なし <sup>3</sup>	MDI-X (OUT)
ルータの TO HUB/TO PC ボタンに相当するボタンが付いていないハブ	Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 2、3、4	クロス	該当なし <sup>4</sup>	MDI-X (OUT)
サーバ、PC、またはワークステーション	Cisco 801 および Cisco 802 ルータ : イーサネット ポート Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 0	ストレート	OUT	該当なし
サーバ、PC、またはワークステーション	Cisco 802 IDSL ルータ : イーサネット ポート Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 1	ストレート	OUT	該当なし
サーバ、PC、またはワークステーション	Cisco 803 および Cisco 804 ルータ : イーサネット ポート 1、2、3	ストレート	該当なし <sup>3</sup>	該当なし
サーバ、PC、またはワークステーション	Cisco 804 IDSL ルータ : イーサネット ポート 2、3、4	ストレート	該当なし <sup>4</sup>	該当なし

1. シスコでは黄色のストレートケーブルを提供しています。クロスケーブルまたは追加のストレートケーブルはユーザ側で用意してください。ケーブルについての詳細は、付録 B 「仕様およびケーブル」を参照してください。

2. ケーブルの選択を制御するボタンの名前は、ハブベンダーによって異なります。この表では、MDI/MDI-X ボタンを備えた Cisco 1528 Micro Hub 10/100 を例として使用しています。ご使用のハブのボタン名および設定を判断してください。詳細は、ご使用のハブのマニュアルを参照してください。

3. Cisco 803 および Cisco 804 ルータでは、HUB/NO HUB ボタンが作用するのはイーサネットポート 0 だけです。

4. Cisco 804 IDSL ルータでは、TO HUB/TO PC ボタンが作用するのはイーサネットポート 1 だけです。

## ハブの接続

Cisco 803、Cisco 804、または Cisco 804 IDSL ルータには、ハブを4台接続できます。

ハブを接続する前に、表 2-2 を参照して、次の作業を行ってください。

- イーサネット ケーブルを選択します。
- ルータ上で、HUB/NO HUB または TO HUB/TO PC ボタンを設定します。
- ハブ上で、HUB/NO HUB または同等のボタンを設定します。

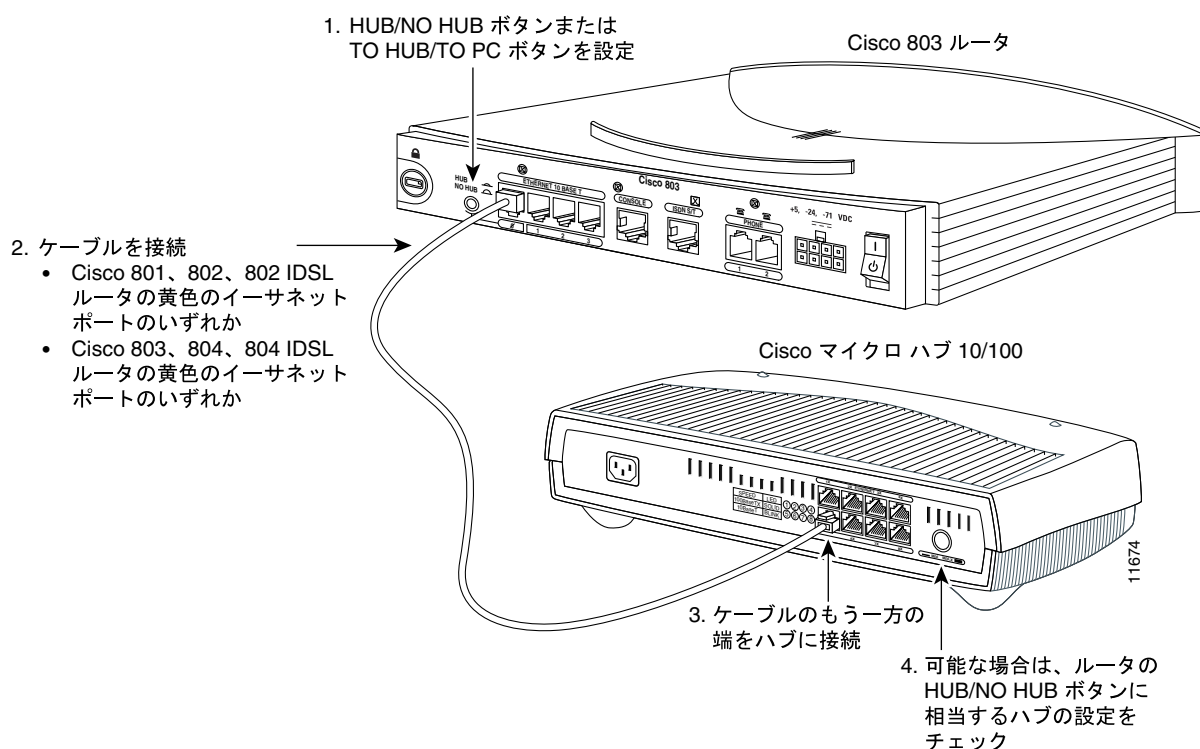
図 2-1 の手順に従って、Cisco 800 シリーズ ISDN または IDSL ルータにハブを接続してください。この図は、4つのイーサネットポートを備えた Cisco 803 ルータを示しています。



### 注意

黄色のケーブルまたはイーサネット ケーブルは、必ずルータ上の黄色のポートに接続してください。このケーブルを ISDN S/T ポート、ISDN U ポート、IDSL ポート、または NT1 に接続しないでください。このケーブルを異なるポートや NT1 に接続すると、ルータが損傷することがあります。

図 2-1 ハブの接続



ハブの接続を確認するには、ルータの設置完了後に、次の該当する LED が点灯していることを確認します。

- Cisco 801、802、802 IDSL の背面パネルの LINK LED
- Cisco 803 または Cisco 804 の前面パネルにある LK0、LK1、LK2、または LK3 の LED
- Cisco 804 IDSL の前面パネルにある ETHERNET 1、2、3、または 4 の LED

LED が点灯しない場合は、第3章「トラブルシューティング」の表 3-2 を参照してください。



## サーバ、PC、またはワークステーションの接続

サーバ、PC、またはワークステーションを接続する前に、表 2-2 を参照して、ルータの HUB/NO HUB または TO HUB/TO PC ボタンの設定方法を調べてください。接続する装置に 10 Mbps または 10/100 Mbps の NIC が装備されていることを確認してください。

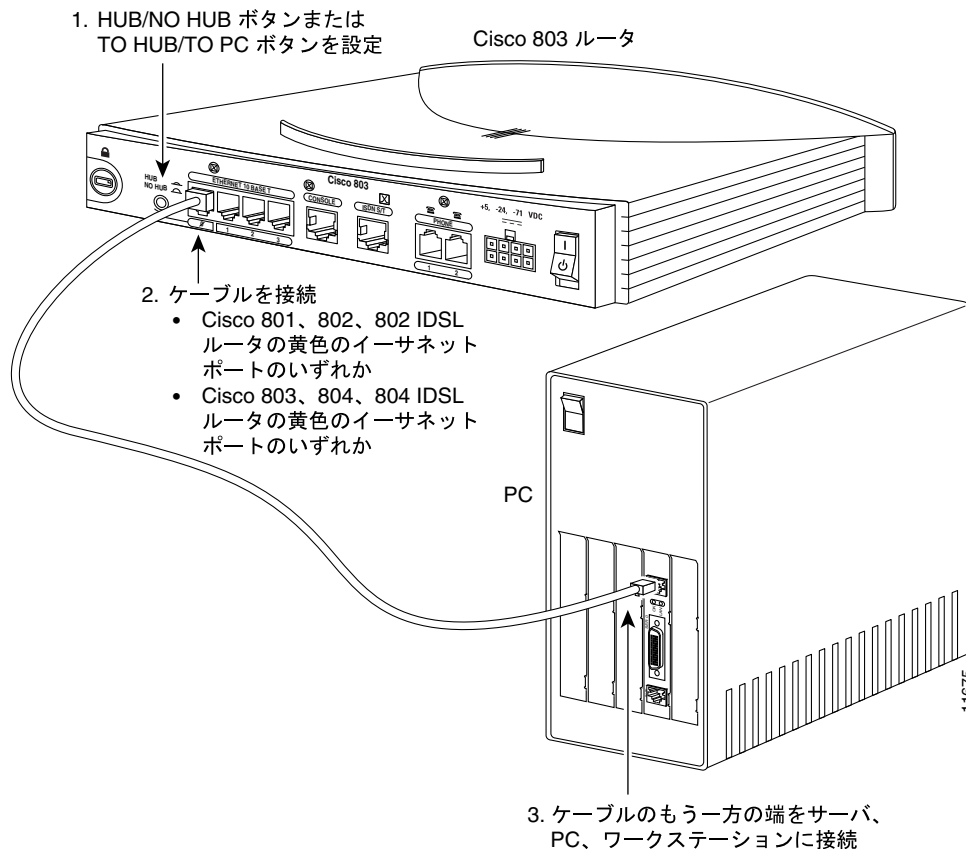
これらの装置を Cisco 800 シリーズ ISDN または IDSL ルータに接続する手順は、図 2-2 のとおりです。



### 注意

黄色のケーブルまたはイーサネット ケーブルは、必ずルータ上の黄色のポートに接続してください。このケーブルを ISDN S/T ポート、ISDN U ポート、IDSL ポート、または NT1 に接続しないでください。このケーブルを異なるポートや NT1 に接続すると、ルータが損傷することがあります。

図 2-2 サーバ、PC、またはワークステーションの接続



接続を確認するには、ルータの設置完了後に、次の該当する LED が点灯していることを確認します。

- Cisco 801、802、802 IDSL の背面パネルの LINK LED
- Cisco 803 または Cisco 804 の前面パネルにある LK0、LK1、LK2、または LK3 の LED
- Cisco 804 IDSL の前面パネルにある ETHERNET 1、2、3、または 4 の LED

LED が点灯しない場合は、第 3 章「トラブルシューティング」の表 3-2 を参照してください。

## ISDN 回線への接続

ISDN 回線への接続手順はルータや使用する地域によって異なります。各ルータの接続手順を次のように分けて説明します。

- [Cisco 801 および Cisco 803 ルータに ISDN 回線を接続する手順](#)
- [Cisco 802 および Cisco 804 ルータに ISDN 回線を接続する手順](#)

### Cisco 801 および Cisco 803 ルータに ISDN 回線を接続する手順

北米以外で使用する場合、外付けの NT1 装置、および NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブルをユーザ側で用意しなければならない場合もあります。次の事項について、電話サービスプロバイダーに問い合わせてください。

- 外付け NT1 および ISDN U ケーブルを用意する必要があるかどうか。
- 用意する必要がある場合は、NT1 ベンダーの名前。

北米で使用する場合は、外付けの NT1 装置、および NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブルをユーザ側で用意しなければなりません。契約している電話サービスプロバイダーに NT1 ベンダーのリストについて問い合わせてください。

外付け NT1 を使用せずに Cisco 801 または Cisco 803 ルータを ISDN 回線に接続する手順は、[図 2-3 \(p.2-11\)](#) のとおりです。

外付け NT1 を使用して Cisco 801 または Cisco 803 ルータを ISDN 回線に接続する手順は、[図 2-4 \(p.2-11\)](#) のとおりです。



#### 警告

ISDN ケーブルには危険なネットワーク電圧がかかっています。ISDN ケーブルを取り外す場合は、感電を防ぐため、最初にルータから離れた側を取り外してください。電源スイッチがスタンバイ状態になっていても、ISDN ポート (RJ-45 コネクタ) 部分のシステムカードには危険なネットワーク電圧がかかっています。



#### 警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



#### 警告

火災の危険性を軽減するため、必ず No. 26 AWG 以上の電話線を使用してください。



#### 注意

オレンジのケーブルは、必ずルータ上のオレンジの ISDN S/T ポートに接続してください。このケーブルを黄色のイーサネット ポートに接続しないでください。ルータが損傷します。



#### 注意

Cisco 800 シリーズ ルータは、電源異常の発生後 30 分間通信を実行しなければならないオーストラリア IUT 要件に準拠していません。電源異常が発生した場合、Cisco 800 シリーズ ルータは他の装置との通信を停止します。

図 2-3 Cisco 801 および Cisco 803 ルータを ISDN 回線に接続する手順（外付け NT1 を使用しない場合）

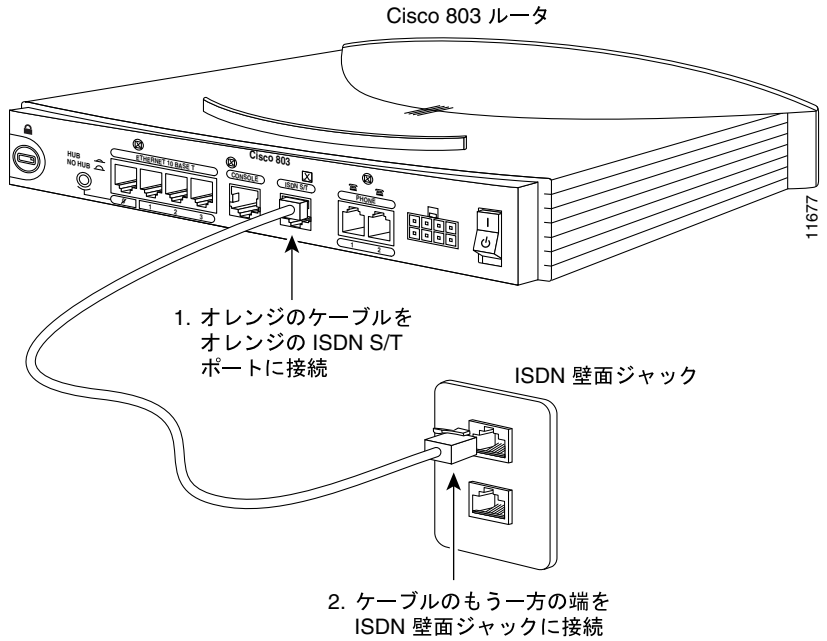
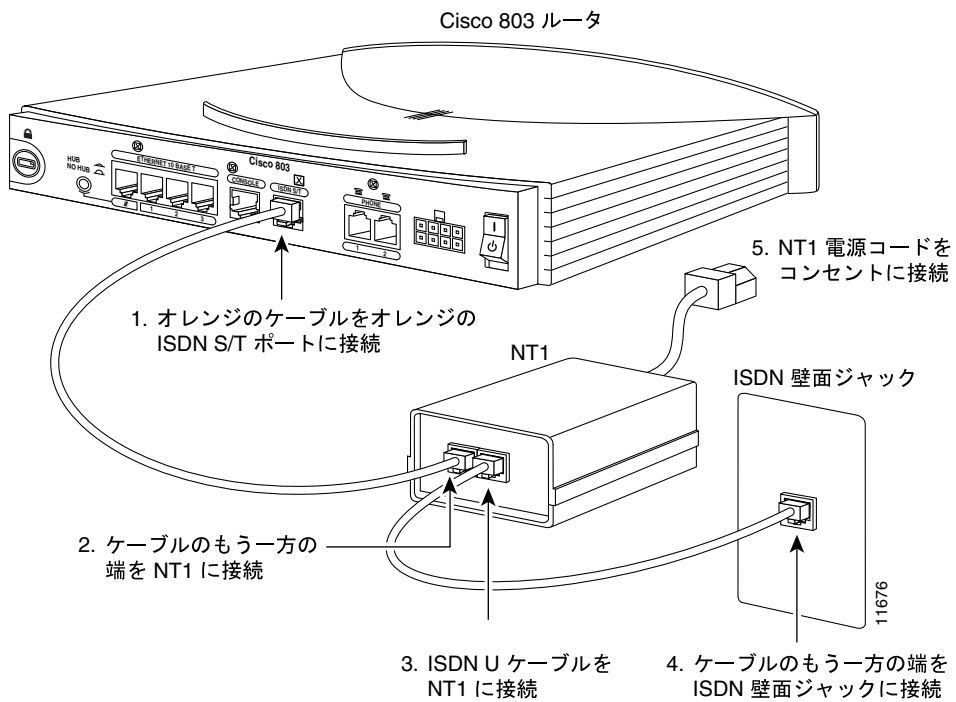


図 2-4 Cisco 801 および Cisco 803 ルータを ISDN 回線に接続する手順（外付け NT1 を使用する場合）



## Cisco 802 および Cisco 804 ルータに ISDN 回線を接続する手順

Cisco 802 および Cisco 804 ルータを ISDN 回線に接続する手順は、[図 2-5](#) のとおりです。

**警告**

ISDN ケーブルには危険なネットワーク電圧がかかっています。ISDN ケーブルを取り外す場合は、感電を防ぐため、最初にルータから離れた側を取り外してください。電源スイッチがスタンバイ状態になっていても、ISDN ポート (RJ-45 コネクタ) 部分のシステムカードには危険なネットワーク電圧がかかっています。

**警告**

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。

**警告**

火災の危険性を軽減するため、必ず No. 26 AWG 以上の電話線を使用してください。

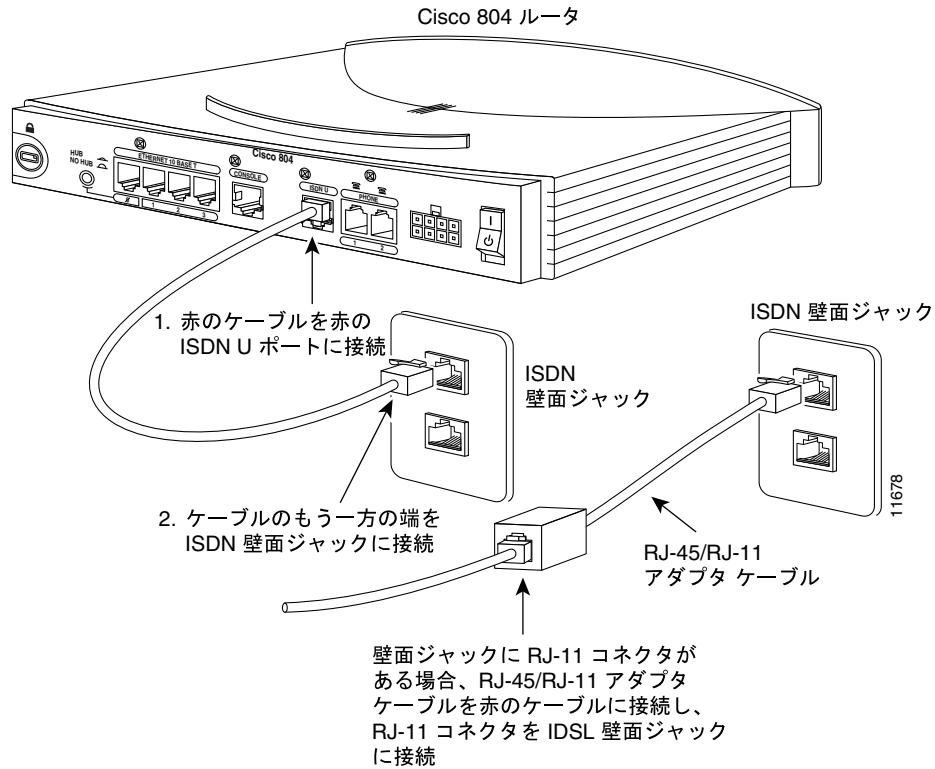
**注意**

赤のケーブルは、必ずルータ上の赤の ISDN U ポートに接続してください。このケーブルを黄色のイーサネットポートに接続しないでください。ルータが損傷します。

**注意**

Cisco 800 シリーズルータは、電源異常の発生後 30 分間通信を実行しなければならないオーストラリア IUT 要件に準拠していません。電源異常が発生した場合、Cisco 800 シリーズルータは他の装置との通信を停止します。

図 2-5 Cisco 802 または Cisco 804 ルータを ISDN 回線に接続する手順



## ISDL 回線への接続



### 警告

ISDL ケーブルには危険なネットワーク電圧がかかっています。ISDL ケーブルを取り外す場合は、感電を防ぐため、最初にルータから離れた側を取り外してください。電源スイッチがスタンバイ状態になっていても、ISDL ポート (RJ-45 コネクタ) 部分のシステムカードには危険なネットワーク電圧がかかっています。



### 警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



### 警告

火災の危険性を軽減するため、必ず No. 26 AWG 以上の電話線を使用してください。



### 注意

赤のケーブルは、必ずルータ上の赤の ISDL ポートに接続してください。このケーブルを黄色のイーサネットポートに接続しないでください。ルータが損傷します。

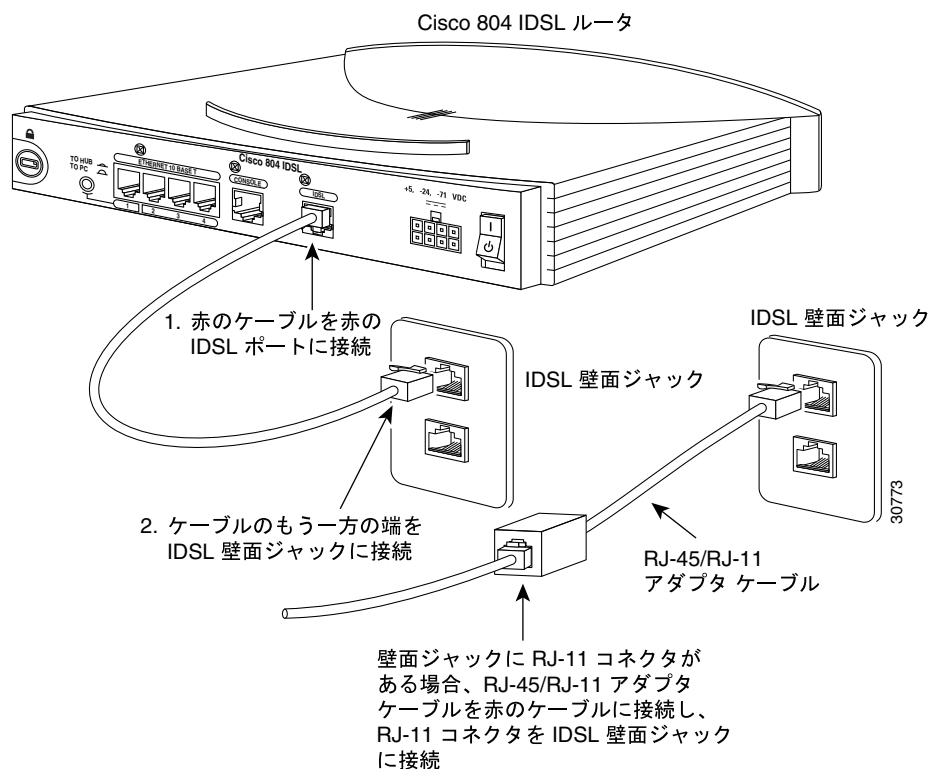


## 注意

Cisco 802 IDSL および Cisco 804 IDSL ルータは、電源異常の発生後 30 分間通信を実行しなければならないオーストラリア IUT 要件に準拠していません。電源異常が発生した場合、Cisco 802 IDSL または Cisco 804 IDSL ルータは他の装置との通信を停止します。

Cisco 802 IDSL および Cisco 804 IDSL ルータを IDSL 回線に接続する手順は、[図 2-6](#) のとおりです。

図 2-6 Cisco IDSL ルータに IDSL ケーブルを接続する手順



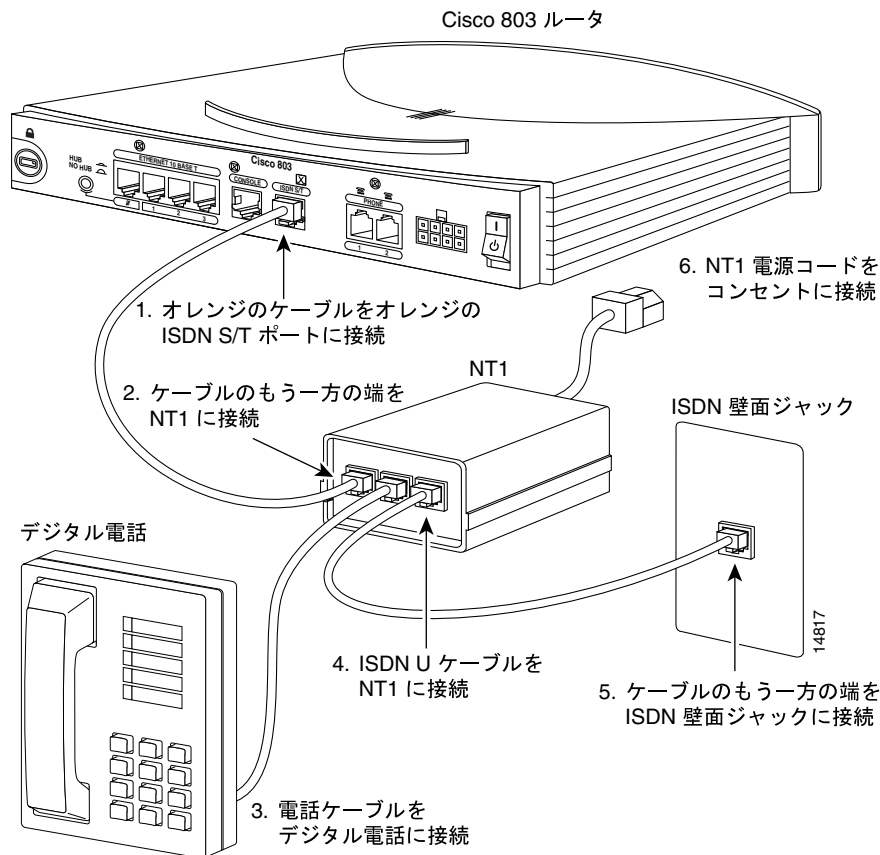
## デジタル電話機の接続

Cisco 801 および Cisco 803 ルータの ISDN S/T ポートには、デジタル電話機（ISDN 電話機）を接続することができます。この電話機は、ISDN 回線を通じて基本電話サービスに接続されます。

デジタル電話機を接続する手順は、[図 2-7](#) のとおりです。次の機器を用意する必要があります。

- S/T インターフェイス 2 つと U インターフェイス 1 つを備えた NT1
- デジタル電話機を接続する電話ケーブル（このケーブルは通常、電話機に付属しています。）
- NT1 を ISDN 壁面ジャックに接続する ISDN U ケーブル

図 2-7 Cisco 801 および Cisco 803 ルータにデジタル電話機を接続する手順



## アナログ電話機、FAX、モデムの接続

Cisco 803 または Cisco 804 のルータを使用する場合は、アナログ電話機、FAX、またはモデムなどの装置を 2 つ接続できます。各装置は、ISDN 回線を通じて基本電話サービスに接続されます。

アナログ電話機、FAX、またはモデムを接続する手順は、[図 2-8](#) のとおりです。各装置を接続する電話ケーブルはユーザ側で用意する必要があります。電話ケーブルは通常、これらの装置に付属しています。

グレーの PHONE 1 および PHONE 2 ポートは RJ-11 コネクタです。北米以外で使用する場合は、これらの RJ-11 コネクタに電話機、FAX、またはモデムを接続できるように、アダプタを購入して取り付けます。一部の国では、ルータの電話ポートと接続して正常に機能するように電話機、FAX、またはモデムを変換するため、アダプタ以外に電子機器を取り付けることがあります。たとえば、英国では、着信コールによって接続先装置が呼び出されるようにするためにマスターソケット付きのアダプタの購入が必要になります。マスターソケットの推奨製品については、[表 2-3](#) を参照してください。



警告

この装置は、リング信号生成装置（リング）が内蔵されているため、危険な電圧源となります。リングがアクティブな状態のときに、RJ-11（電話）ポートのワイヤ（導体）、RJ-11 ポートに接続されているケーブルの導体、対応する回路基板には触れないでください。リングは着信コールによってアクティブになります（カチッという音がします）。



## 注意

ルータの電話ポートを電話用の壁面ジャックと接続しないでください。これらのポートは公衆網に直接接続することはできません。直接接続すると、ルータが損傷することがあります。

図 2-8 Cisco 803 および Cisco 804 ルータにアナログ電話機、FAX、またはモデムを接続する手順

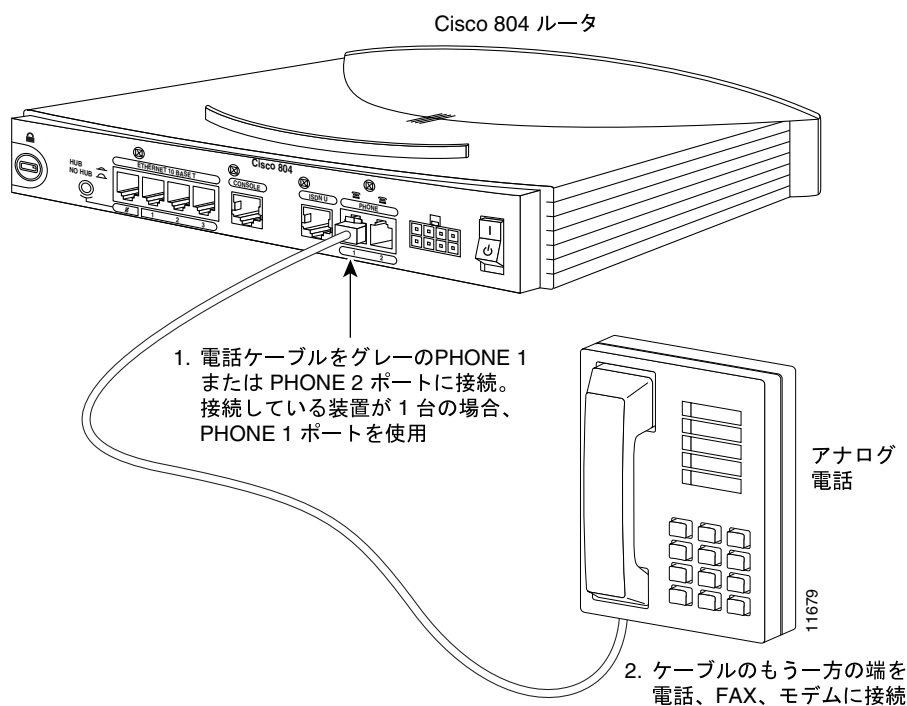


表 2-3 英国のマスター ソケットの推奨ベンダー

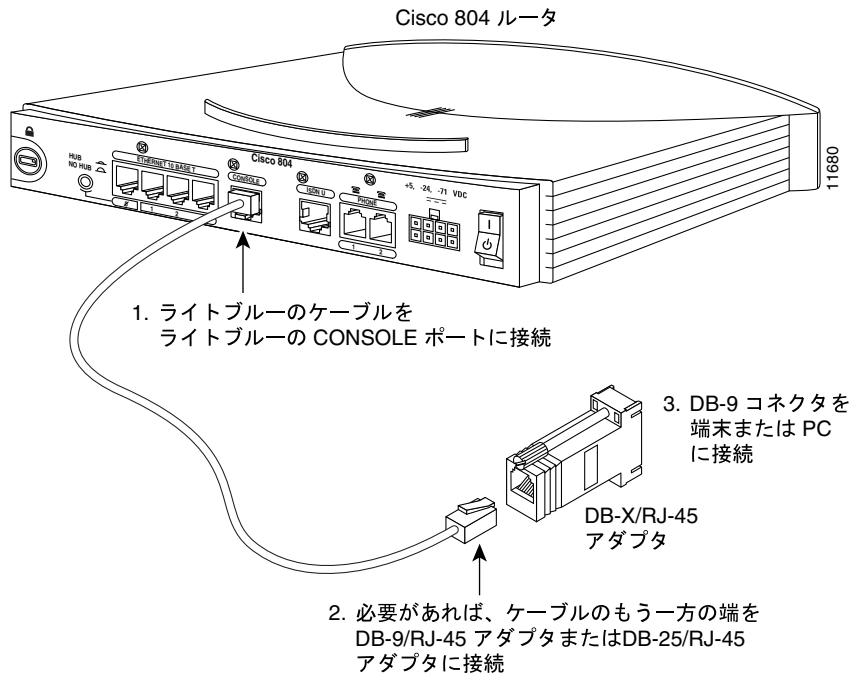
ベンダー名	製品名	参照
RS Components	Avro Pacific Telephone Ring Adapter (Part Number : 303-2000)	<a href="http://www.rswww.com/">http://www.rswww.com/</a>
Tandy	Export Adapter (Part Number : 2797057)	<a href="http://www.tandy.co.uk/">http://www.tandy.co.uk/</a>



## 端末または PC の接続

端末と PC のいずれかを接続し、端末または PC を使用して CLI によるソフトウェアの設定やトラブルシューティングを行うことができます。端末または PC を接続する手順は、[図 2-9](#) のとおりです。

図 2-9 端末または PC の接続



## 電源装置の接続

電源装置の接続手順は、[図 2-10](#) のとおりです。



この装置は TN 電源システムで動作するように設計されています。

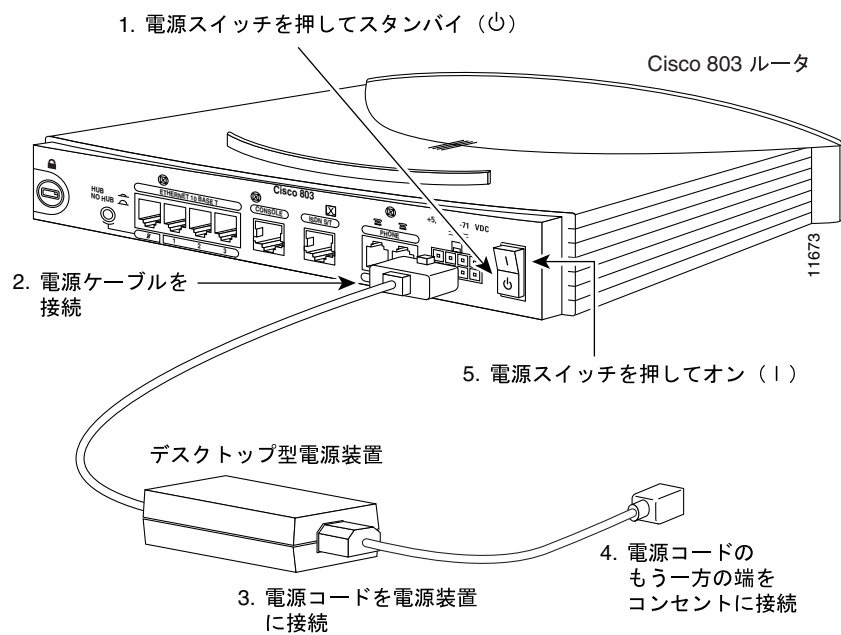


この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。このため、屋内配線には必ず、米国では 120 VAC、15A（他の国では 240 VAC、16A）以下のヒューズまたは保護回路ブレーカーを使用してください。



この装置は、アースされていることが前提になっています。通常の使用時には必ず装置がアースされているようにしてください。

図 2-10 電源装置の接続



## ルータの設置

ルータは次の方法で設置できます。

- 卓上またはその他の平面
- 壁面またはその他の垂直面

### 卓上への設置

ルータは卓上またはその他の平面上に設置できます。設置のための注意事項は次のとおりです。

- ルータの側面にある通気口をふさがらないでください。
- 最大5台のルータを積み重ねることができます。

### 壁面への設置

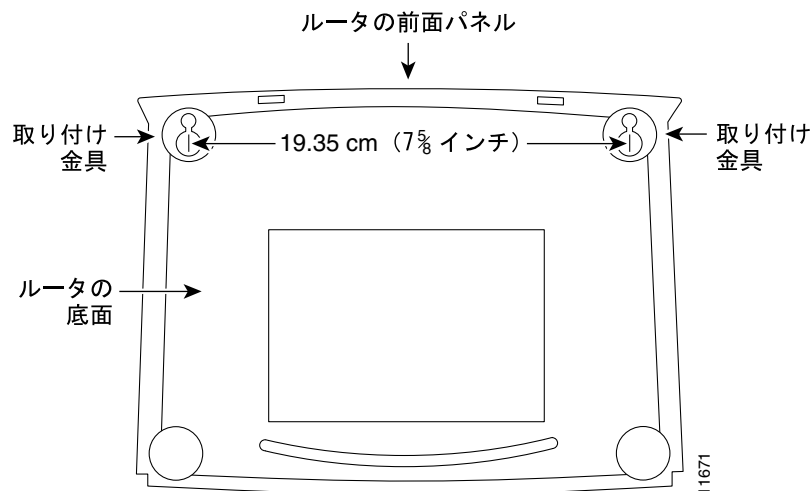
ルータ底面のモールドマウントブラケットと No.6 の 3/4 インチ (M3.5 × 20 mm) ネジ2本を使用して、ルータを壁面またはその他の垂直面に設置することができます。ネジはユーザ側で用意してください。図 2-11 にマウントブラケットを示します。



#### 注意

ルータを設置する壁面が乾式壁の場合は、ネジを固定する中空壁アンカ (5/16 インチのドリルビット付き 1/8 インチ、または 8 mm のドリルビット付き M3) を2つ使用します。ネジがしっかり固定されていないと、ネットワーク ケーブルの接続によって力がかかり、ルータが壁から外れることがあります。

図 2-11 壁面設置用のブラケット (ルータ底面)



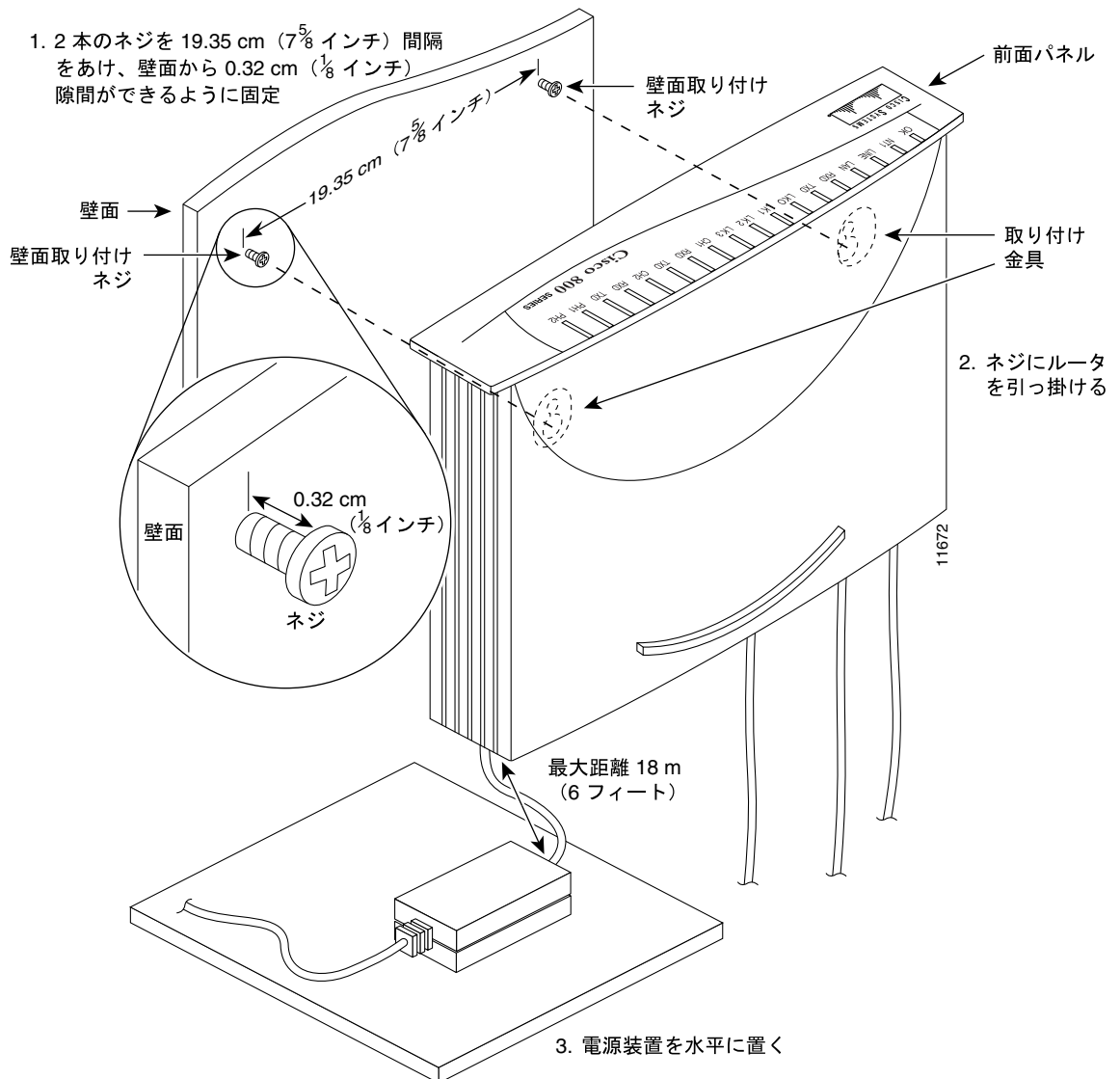
ルータを設置する際には、次の条件を満たす必要があります。

- ルータの状態や問題発生インジケータとして LED を使用するので、前面パネル上の LED を上方に向けて、LED がよく見えるように設置します。
- ケーブルの接続部に無理な力がかからないようにするため、背面パネルが下向きになるように設置する必要があります。

- 電源装置は床や卓上などの平面に置いてください。電源装置が平面で支えられていないと、電源装置のケーブルに無理な力がかかり、ルータの背面パネルのコネクタから電源装置が外れることがあります。

ルータの設置手順は、図 2-12 のとおりです。このマニュアルの最後のページに、ネジ間の距離を測るためのテンプレートがあります。

図 2-12 壁面へのルータの設置



## 設置の確認

表 2-4 を参照して LED をチェックし、ケーブル接続（リンク）を確認してください。LED が点灯しない場合は、第 3 章「トラブルシューティング」を参照してください。

Cisco 801 および Cisco 802 のルータでは、LINK LED は背面パネルにあります。

表 2-4 設置の確認

電源 / リンク	確認する LED	正常なパターン
電源	OK	点灯
ハブ、サーバ、PC、またはワークステーションへのリンク	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco 801、802、および 802 IDSL ルータ：LINK、LAN、LAN RXD、および LAN TXD</li> <li>Cisco 803 および Cisco 804 ルータ：LK0、LK1、LK2、LK3、LAN、LAN RXD、および LAN TXD</li> <li>Cisco 804 IDSL ルータ：ETHERNET LAN、RXD、TXD、1、2、3、4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINK、LK0、LK1、LK2、LK3、ETHERNET 1、2、3、4、LAN が点灯します。LAN は、イーサネット ポート上でパケットを送信または受信すると点灯します。</li> <li>LAN RXD：イーサネット ポート上でパケットを受信すると点滅します。</li> <li>LAN TXD：イーサネット ポート上でパケットを送信すると点滅します。</li> </ul>
ISDN S/T ポートを使用した ISDN ネットワークへのリンク	LINE、CH1、CH1 RXD、CH1 TXD、CH2、CH2 RXD、および CH2 TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINE、CH1、CH2 が点灯します。ルータにアクティブな音声接続またはデータ接続を行うと、CH1 または CH2 が点灯します。</li> <li>CH1 RXD、CH2 RXD：ISDN B チャンネル上でパケットを受信すると点滅します。</li> <li>CH1 TXD、CH2 TXD：ISDN B チャンネル上でパケットを送信すると点滅します。</li> </ul>
ISDN U ポートを使用した ISDN ネットワークへのリンク	NT1、LINE、CH1、CH1 RXD、CH1 TXD、CH2、CH2 RXD、および CH2 TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>NT1、LINE、CH1、CH2 が点灯します。ルータにアクティブな音声接続またはデータ接続を行うと、CH1 または CH2 が点灯します。</li> <li>CH1 RXD、CH2 RXD：ISDN B チャンネル上でパケットを受信すると点滅します。</li> <li>CH1 TXD、CH2 TXD：ISDN B チャンネル上でパケットを送信すると点滅します。</li> </ul>
IDSL ポートを使用した IDSL ネットワークへのリンク	NT1、LINE、CH1、CH1 RXD、CH1 TXD、CH2、CH2 RXD、および CH2 TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>NT1、LINE、CH1、CH2 が点灯します。ルータにアクティブなデータ接続をし、回線速度が 64 kbps の場合は、CH1 と CH2 のいずれかが点灯します。ルータにアクティブなデータ接続をし、回線速度が 128 kbps または 144 kbps の場合は、CH1 と CH2 の両方とも点灯します。</li> <li>CH1 RXD、CH2 RXD：ISDN B チャンネル上でパケットを受信すると点滅します。</li> <li>CH1 TXD、CH2 TXD：ISDN B チャンネル上でパケットを送信すると点滅します。</li> </ul>

表 2-4 設置の確認 (続き)

電源 / リンク	確認する LED	正常なパターン
デジタル電話機へのリンク	LINE、CH1、CH1 RXD、CH1 TXD、CH2、CH2 RXD、および CH2 TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINE、CH1、CH2 が点灯します。ルータにアクティブな音声接続を行うと、CH1 または CH2 が点灯します。</li> <li>CH1 RXD、CH2 RXD : ISDN B チャネル上でパケットを受信すると点滅します。</li> <li>CH1 TXD、CH2 TXD : ISDN B チャネル上でパケットを送信すると点滅します。</li> </ul>
アナログ電話機、FAX、またはモデムへのリンク	PH1 および PH2 <sup>1</sup>	アナログ電話機、FAX、またはモデムの使用中は点灯します。

1. 受話器を上げてダイヤルトーンが聞こえるかどうか確認する方法もあります。

## 次の作業

これでハードウェアの設置が完了しました。次はソフトウェアの設定を行います。Cisco 800 Fast Step アプリケーションは経験の少ないネットワーク管理者が使用することを推奨します。Cisco 800 Fast Step CD-ROM およびオンライン ヘルプをご利用ください。経験を積んだネットワーク管理者であれば、CLI を使用してソフトウェアを設定することもできます。その際には、『Cisco 800 Series Routers Software Configuration Guide』を参照してください。